

簡易な遮光幕の設置により リンドウ着色不良花の発生は軽減できる

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花き－リンドウ－環境調節

2 担当者名

鈴木保奈美

3 要旨

近年、高温の影響によりリンドウの着色不良花が発生し、品質低下、収量減少が問題となっている。また、過去に遮光の有効性を示したが、遮光資材を畝支柱下方へ垂れかける等作業性に難があった。そこで、畝上部へ簡易的な遮光幕を設置する方法を検討した結果、着色不良花の発生抑制効果が確認された。

(1) 品種は「ふくしまほのか」、「かせん彼岸」、「尾瀬の愛」を用い、花卉抽出期(7月19日)以降収穫期まで、遮光率 50～55%の遮光幕(商品名：ダイオカルクール、(株)イノベックス)を南北畝の株上アーチパイプに展張した(図1)。

(2) 遮光による切り花形質、収穫期への影響は見られなかった(表1)。

(3) サーモグラフィーカメラで撮影した花卉部(植物体)温度は、遮光すると約4℃低かった(データ省略)。

表1 切り花形質、収穫期、着色不良花調査

品種	遮光	切り花形質		収穫盛期 (50%)	調査茎数 (本)	総着花数 ¹⁾ (花)	着色不良花 ²⁾ 割合 ³⁾ (%)
		切花長 (cm)	花段数 (段)				
ふくしまほのか	あり	96.7	5.0	9月3日	221	2,188	10.6
	なし	94.0	4.9	9月5日	240	1,942	44.3
かせん彼岸	あり	76.2	4.9	9月2日	152	4,754	14.5
	なし	72.1	4.9	9月2日	143	4,417	15.4
尾瀬の愛	あり	76.0	4.6	8月28日	127	2,401	13.9
	なし	76.0	4.5	8月30日	156	2,353	55.6

1)調査茎数の総着花数：調査茎数において一部でも着色している花を着色花としてカウントした

2)着色不良花：花卉の色抜けが確認できる花

3)着色不良花割合：着色不良花数/総着花数×100



図1 遮光幕設置の様子

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和6年度

(2) 研究課題名 気候変動に対応した生産技術の開発

5 主な参考文献・資料

(1) 矢島豊ら,リンドウの花弁に発生する着色不良症状の発生要因と対策の方向性,2013.